

日本共産党 創立100年

志位委員長が談話「党の歴史は今に生きる力を発揮している」

日本共産党は15日、党創立100周年を迎えました。これに先立って、志位和夫委員長は14日、国会内で記者会見し、談話「日本共産党の歴史は、今に生きる力を発揮している——党創立100周年にあたって」を発表しました。

志位氏は、100年を貫く特質として、(1)どんな困難のもとでも、決して国民を裏切らず、社会進歩の大義を貫く不屈性(2)科学的社会主義を土台に、つねに自己改革を進めてきたこと(3)つねに国民との共同で政治を変えるという姿勢を貫いてきたこと一を強調。「それは、ただ過去の歴史の問題にとどまらず、今に生きる力を発揮しています」として、四つの角度から語りました。



記者会見する志位和夫委員長 14日、国会内

日本国憲法に実った戦前のたたかい

命がけで「国民主権」と「反戦平和」の旗を掲げた日本共産党の不屈のたたかいは、戦後の日本国憲法に実ったことを強調。いま多くの政党がロシアの蛮行に乗じて、軍拡・改憲の大合唱を行うなど、新たな「翼賛政治」の危険が生まれているもとで、今に生きる力を発揮していると述べました。

国民の共同の力で

社会変革を進めるという立場

綱領でこの大方針を貫き、発展させてきたことがこの間の市民と野党の共闘の運動の開始など重要な成果に結びついていると述べました。

志位委員長の記者会見と質疑応答の動画はこちら

(YouTubeへとびます)



どんな国であれ覇権主義を許さないたたかい

旧ソ連による干渉攻撃をはねのけ、自主独立路線を確立した党の歴史を語るとともに、“どんな国であれ覇権主義を許さない”という日本共産党の立場は、ロシアのウクライナ侵略や中国の覇権主義が深刻になると、何よりも世界でも異常な「アメリカ言いなり」の政治を根本からただすうえで、いよいよ重要になっていると強調しました。

社会主義・共産主義の実現を掲げ続けてきた

気候危機の深刻化、貧富の格差の劇的な拡大などで、「資本主義体制を続けていいのか」という問いかけが広く行われているもとで、この社会変革の大目標がいよいよ重要になっている、と強調。発達した資本主義国での社会変革の豊かで壮大な可能性を述べ、「『日本共産党』という名前を高く掲げて、新たな躍進を勝ち取るべく奮闘する」と決意を語りました。

先人たちの不屈のたたかいを受け継ぎ、命と暮らしを守る政治へ、がんばります。



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2022年7月号外日本共産党東京都委員会の訴えを紹介します。

発行／東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日第三種郵便物認可

自由と平和。まっすぐ、つらぬく。

日本共産党